

石川県議会副議長 就任祝賀会

■ 8月18日 ■ 津幡町福祉センター



第111人目
石川県議会副議長
焼田宏明あいさつ



壇上に並ぶ来賓の方々



谷本正憲石川県知事
あいさつ



矢田富郎津幡町長
あいさつ

津幡、内灘、石川を
元気に、明るくする！



PROFILE

焼田宏明 (やけだひろあき)

昭和32年8月13日生まれ(61歳) ■
津幡高校、金沢経済大学卒業 ■昭和
51年、日本フィルター工業(株)入社
■その後、津幡地区青年団団長、津幡
町体育指導員など地域活動に取り組
む ■平成23年4月、石川県議会議員
選挙に河北郡選挙区から立候補し初
当選(現在2期目) ■平成30年3月よ
り第111人目石川県議会副議長

現在の主な役職

- 自由民主党津幡町支部長
- 河北潟干拓土地改良区理事長
- 河北潟地区国営土地改良事業推進協議会副会長
- 河北郡有害鳥獣対策協議会会長
- 石川県基幹水利施設協議会会員
- 石川県トランポリン協会副会長
- 河北郡トランポリン協会会長
- 津幡町商工会顧問
- 津幡町体育協会総合型地域スポーツクラブ顧問
- 津幡町柔道連盟会長
- 津幡町相撲連盟名誉顧問
- 津幡町ラグビー協会顧問
- 津幡町クレー射撃協会顧問
- 津幡町選層軟式野球協会会長
- 津幡町ソフトボール協会会長
- 石川県立津幡高等学校特別教育活動振興会顧問

(平成31年1月現在)

ふるさとの発展に全力。

5年後の森林公園開園50周年に向けて
記念事業の実施に全力で取り組みます

津幡駅周辺環境整備、富山・石川をつなぐ
県境交通アクセス整備に全力で取り組みます

河北潟干拓地を中心に農産物のブランド化など
地域おこしに全力で取り組みます

北陸新幹線開業効果のさらなる拡大を目指し
観光だけでなく、企業誘致や商工業の発展に全力で取り組みます

安全・安心のやさしいふるさとに向けて、
健康社会の実現に全力で取り組みます

学園都市・津幡町を目指し、
大学の誘致に全力で取り組みます

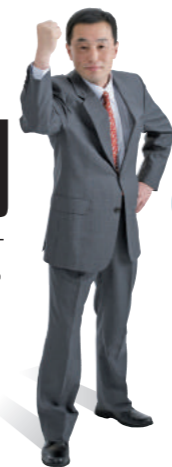
地元の声をしっかりと聞き、町政と県政が
一体となるようパイプ役に徹します

やけだ宏明

県政報告

Vol.8

発行者：やけだ宏明事務所
発行日：2019年1月1日



県政 360度 365日

ごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。
皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。本年も昨年
同様どうぞ宜しくお願い申し上げます。

さて、昨年3月27日の臨時議会におきまして第111人目の県
議会副議長に推挙され、9カ月余り経過致しました。この間、
議長の名代として数多くの会議や式典・総会等に出席、議長
から預かった祝辞を代読するなど、とても貴重な経験をさせて
いただきました。

特に議長の代理として参加した8月20日の緊急要望活
動では、北陸新幹線金沢―敦賀の建設費が、現行計画より
2260億円増加する見通しとなったことから、石川・富山・福
井・京都の4府県の知事・議長・北陸経済連合会会長ととも
に、石井啓一国土交通大臣や自民党本部を訪問、地元負担
軽減などを求めた要望書をお渡ししてまいりました。また今回
のように、今後北陸三県が連携をとり、地域の魅力を発信する
ことで、人口減少対策や企業誘致活動などにも繋がるため、
最前線での要望活動の重要性を直接肌で感じ取ることができ
たことで、副議長の重責を少しは果たせたかなと感じました。

また、昨年3月には石川県知事選挙、続いて4月には津幡町
長選挙が行われ、谷本知事は七選を、矢田町長は三選を果
たすことができ、大変喜ばしい結果に満足しているところであ
りますが、今年4月には私自身の三期目に向けた統一地方選挙
(県議会議員選挙)が予定され、昨年末から緊張感をもって、
一歩ずつ粛々と準備してまいりました。

平成として残り4ヵ月、また5月から始まる新しい時代に向
け、引き続き県政とのパイプ役として働かせて頂くためには、こ
の春の統一地方選挙で、三度信任を得なければなりません。
県議としての2期8年は「アツという間」でしたが、最後の一年
は県議会副議長という重責を任せられ、恵まれた一年を送るこ
とができました。

これまでの貴重な経験を次なるステージに活かすため、皆
様方の更なる御支援を宜しくお願い申し上げます。

最後になりますが、この一年が皆様にとって良い年となりま
すよう御祈念申し上げ、年頭の御挨拶といたします。

平成31年1月

石川県議会議員 **焼田 宏明**

やけだ宏明の公式HPを開設しています。



<http://www.yakeda.jp/>



お近くにお越しの際は、
気軽にお立ち寄りください。

やけだ宏明事務所

〒929-0327
石川県河北郡
津幡町庄ウ57-1
電話：076-288-7828
FAX：076-288-7827

駐車場あります。

河北
元氣印
宣言。

自由民主党

副議長室にて

副議長



津幡町長
矢田富郎

新年あけましておめでとうございます。皆様にはお揃いで新しい年を迎えられましたことと心からお慶び申し上げます。

焼田県議には、昨年3月に石川県議会副議長に就任されました。これまでになく、大変忙しい一年を送られたものと思います。そんな中にありまして、津幡町の事業などについて、谷本知事はじめ県庁の部課長のところへ、いつも足を運んでいただいています。そして時には、県議会での一般質問や予算委員会、そして常任委員会での質問を通じ、津幡町の活性化に大変大きなお力添えを頂いております。

焼田県議におかれては、春には三期目の選挙を迎えます。常に初心を忘れることなく、地道に丁寧に戦いの駒を進めていただきたいと思います。

さて、私事になりますが、昨年4月の津幡町長選挙で、三期目を無事に無競争で当選することができました。焼田県議はじめ、津幡町民の皆様から心から感謝申し上げる次第です。

昨年は大雪で始まり、地震、豪雨、台風とこれまでにない多くの自然災害が全国各地で発生しました。明けて今年5月に「平成」から新しい年号に変わります。これまでに経験できなかったような、そんな一年になりそうです。

津幡町でも新しい年号に合わせて忙しい期間のスタートとなります。まず、今年7月の猛暑を踏まえ熱中症対策として、今年7月に供用できるように町内全小中学校の教室へのエアコン設置に向け準備を進めております。新庁舎の建設にも取り掛かります。来年暮れの完成に向けまして、急ピッチで工事が始まります。

新庁舎が終わりますと室内温水プールの建設が続きます。水泳教室の子供達から健康づくりのお年寄りまで、幅広く町民の皆様を利用して頂きたいと思っています。時期を同じくして河合谷小中学校の跡地を利用した体験型宿泊交流施設の整備にも取り掛かりたいと考えています。河合谷地区の地元の方々もいろいろと知恵を出し、工夫されておられるので楽しみです。

昨年から造成工事が始まった大坪地区工業団地は、来年には分譲が開始されそうです。すでに何件かの問い合わせもあり喜んでます。

また、倶利伽羅地区の体験型観光交流公園は現在、道路整備を行っています。“紅葉の名所”と言われるように3,000本のモミジを植栽します。4年後には一期工事が終わります。多くの方に来場してもらいたいと思っています。

この他、昨年建設促進期成同盟会が設立されました津幡駅東口の整備や倶利伽羅地区での新駅設置も、町の活性化のためには大変重要な事業です。

更に、国土交通省の事業ですが、津幡町と富山県小矢部市を結ぶ国道8号の倶利伽羅トンネルの整備は、今年には用地買収も行われます。倶利伽羅地区防災事業として平成28年度から予算化され、調査・設計と進められてきた事業も、いよいよ延長3kmのトンネルの本体工事着工が近づいてきました。

いろいろな事業が目白押しです。これらの事業を円滑に進めるためにも、焼田県議の力が重要です。これからも津幡町のために、河北郡市のため、石川県のために、ご活躍されますよう心からお祈り申し上げます。

協力を賜り、国政に送り出させていただきました事に改めて心より御礼申し上げます。大きな責任を胸に全力で国政に取り組んでまいります。

一昨年、11月に召集されました第195回特別国会に衆議院議員として初登院をさせていただいて以来、昨年の第196回通常国会、第197回臨時国会においても衆議院内閣委員会、農林水産委員会、原子力問題調査特別委員会の委員として、これまでに7回質問の機会をいただき、石川県の魅力、抱える課題についてそれぞれの委員会において発言してまいりました。地方議員として取り組んできた課題や経験を生かし、引き続き地方の立場としての目線を忘れず、

地域の声を国政に届け、結果を出すために今後身を引き締め国政に取り組んでまいります。

天皇陛下の御退位と皇太子殿下の御即位が同時に行われる本年は、光格天皇から仁孝天皇への皇位の継承以来、約200年ぶり、憲政史上初めてのことであり、我が国の歴史にとって極めて重要な節目となる一年であります。

併せて本年は、ラグビーワールドカップの開催、翌年にはオリンピック・パラリンピック東京大会の開催等、様々な国家的な行事が予定されております。これらの好機をとらえ石川県、津幡町

全体にその効果を波及させていくためにも引き続き、町、県、国の強固な連携が大切です。そのためには、これまでの多くの実績、多くの方々からの厚い信頼を受ける焼田副議長の強いリーダーシップと行動力が大変重要であり期待されております。私も焼田副議長とともに全力で頑張っております。

末筆ではございますが、津幡町の益々のご発展と町民の皆様の健康とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年明けましておめでとうございます。

旧年中、焼田宏明県議はじめ皆様にはお世話になり、感謝申し上げます。

昨年を振り返ると、石川県は久々の豪雪に見舞われ、夏には災害レベルの猛暑が続き、台風による水害なども相次ぎました。被災された皆様にお見舞い申し上げますとともに、改めて生活を守るインフラの整備など災害に強い国土づくりの推進が不可欠という信念を強く致しました。

政治面では、9月に6年ぶりとなる自民党総裁選が行われ、18歳以上の104万人の党員有権者と405人の所属国会議員が安倍晋三氏と石破茂氏の論戦に耳を傾け、安倍氏が三選を果たしました。安倍総裁は、喫緊の課題である災害復興をはじめ、国内外の諸課題に全力を挙げて取り組むとした上で、日本の新しい姿、国づくりに挑戦し、子供たちの世代に誇りある日本を渡すために全力を尽くすと訴えました。より丁寧な政権運営で今後三年間、集大成の働きが求められます。

お陰様で、私も皆様のお力添えで国政に送っていただき15年目の節目を迎えました。国土交通大臣政務官や財務副大臣を経験し、現在、参議院の自民党幹事長代行などとして地方重視の選挙制度改革を断行したほか、ふるさと石川の活性化のため北陸新幹線を開西まで早期に延伸しようとするなど重要課題に取り組ませていただいております。

憲法改正については、党派を超えた国会での

議論を通じて国民的な合意を形成したいと考えます。国民の安全や国家の主権を守り、災害時にも奮闘する自衛隊の存在を憲法に明記したいと願います。人口の少ない地域の声が中央に届くよう参院選の合区解消も目指して参ります。

さて、今年4月には統一地方選で県議会議員選挙と津幡町議会議員選挙が行われますが、石川県政のため地元の発展のため尽力されている焼田県議はじめ関係の町議の皆様のご健闘をお祈り申し上げます。引き続き、7月には第25回参院選が行われますが、石川県選挙区では二期目に挑む山田修路参議員と全国比例の各候補のご支援を賜りますよう切にお願い申し上げます。政治の安定こそが、地域の活性化や暮らしの向上につながることを確信し、私も全力を尽くす所存です。

いよいよ、平成の世が幕を閉じ新時代が訪れます。4月30日、今上天皇が退位され、翌5月1日には、皇太子殿下が第百二十六代の皇位を継承されます。私は天皇陛下御即位30年奉祝国会議員連盟の一員として、今上天皇のご労苦に感謝の誠を捧げるとともに、新たな天皇を象徴とする日本国と国民の幸福を心から願う者であります。

結びに、焼田宏明県議のさらなる飛躍を願い、新年が皆様にとりましてより良き年となりますようご健勝ご活躍をお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



参議院自民党幹事長代行
参議院議員

岡田直樹



衆議院議員
西田昭一

謹んで新春のお祝い申し上げます。

旧年中は格別なご高配を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

皆様におかれましては輝かしい新年をお迎えることとお慶び申し上げます。

本年も変わらぬ温かいご指導ご鞭撻のほどよろしく願い申し上げます。

一昨年の衆議院総選挙においては長年地域の為に尽力いただきました北村茂男先生の引退表明を受け、時間の制限の中での選挙でございましたが、焼田石川県議会副議長(自由民主党津幡町支部長)を筆頭に、支部一丸となって津幡町の皆様から絶大なるご支援やご



参議院議員

山田修路

新年あけましておめでとうございます。皆様にはお健やかに新年を迎えられました事とお慶び申し上げます。

今年は皇位継承が行なわれ、皇室も新時代をお迎えになられます。皇室の弥栄をお祈り申し上げ、新天皇陛下のご即位を皆様と共にお祝いしたいと存じます。

旧年中には焼田副議長をはじめ、津幡町の皆様から一方ならぬご高配にあずかり、ご支援をいただきました。誠にありがとうございます。心より御礼申し上げます。

皆様のお力で国政の場に送り出さいただき、はや六年目となりました。この間、参議院議員山田修路の政治活動に様々なご助言やご指導を頂き、厚く御礼申し上げます。

国会では、予算委員会、TPP特別委員会、農林水産委員会、消費者問題特別委員会などに所属し、提出した法案の成立に貢献してきました。TPP協定に関連して、公務員時代の経験も活かし、米国など諸外国を6度にわたり訪問し、各国の政府関係者や国会議員と協議したり、国会審議の場で、安倍総理に直接、十分な国内対策を講ずるよう求め、実現する事ができました。

一昨年八月には、総務大臣政務官を拝命し、政府の一員として、働いて参りました。総務大臣政務官として、森林環境税の創設や、郵政事業のユニバーサル・サービスの確保に関する

法案の成立、地方の活性化や消防の強化などに取り組んできました。

地方の活性化に向けて、更なる努力をしたいと決意し、今年に行われます第二十五回参議院議員通常選挙に向けた活動を開始しております。昨年には、自由民主党より公認も頂いたところであります。

地方の活性化は山田修路のライフワークであり、当選以来、一生懸命に取り組んで参りました。これまでの国家公務員や参議院議員としての経験、そして総務大臣政務官の経験を活かし、産業を振興し、社会基盤を整備し、安全・安心な暮らしを守るため、全力で取り組む決意でございます。

地域発展の為には、国・県・町が連携して政策を進め、継続する必要があります。焼田副議長には今春、新たな4年にむけ、チャレンジされる事と存じますが、是非とも、乗り越えていただき、地域振興のオピニオンリーダーとして、力強い牽引者として、益々のご活躍を期待するところです。

焼田副議長と手を携えて。これからも津幡町の発展につながるように、また、皆様のご恩に報いることのできるよう、しっかりと仕事をしていきたいと存じます。新しい年が皆様にとって、素晴らしい一年になりますようご念願し、併せて、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。本年もなにとぞ宜しくお願い致します。

新年、明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい初春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

焼田先生をはじめ、津幡町の皆様には、全国比例区の参議院議員として活動する私に対しましても、平素より多大なご指導とご支援を賜り、衷心より感謝申し上げます。全国的に景気は回復基調ではありますが、未だ厳しい環境にある地方の経済を躍動させ、地域産業を振興すべく、皆様からの温かい応援にお支え頂きながら専心努力致しております。

津幡町に根差した中小企業・小規模事業者の強みや魅力を成長させるべく、焼田先生のご指導を仰ぎながら、個者支援や面的対策の充実に努めているところでございます。経済の安定と潤いが、日々の住民サービスを充実させるチカラになります。少子高齢化に伴う人口減少や

人生100年時代の到来など、まさに歴史的転換期の中に置かれている地域の現状を鑑みれば、行政基盤を安定強化することが喫緊の課題と心得ております。

焼田先生におかれましては、県議会副議長としてご公務多岐多端であることは重々承知しておりますが、津幡町の持続的発展を実現していくためには、矢田町長や町当局、町議会議員の皆様との連携協力の上に、中心となつてのご活躍が期待されると強く認識しておりますので、私の立場からも鋭意専心お支えし、尽力して参る所存でございます。

結びに、焼田先生の尚一層のご活躍を祈念し、併せて皆様のご健勝とご多幸、そして津幡町の発展飛躍をお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



参議院議員

宮本周司

総務企画県民委員会 視察より



県外調査 ゼビオアリーナ仙台 (8月30日)



県外調査
木の屋石巻水産
(8月30日)



金沢・能登地区調査
石川県消防学校
(10月18日)



加賀地区調査
のいちカレード
(7月30日)



県外調査
鉄道博物館
(8月29日)

県外調査 街づくりまんぼう (8月30日)



副議長として



町村議会議長会定例総会 (4月24日)



県民みどりの祭典 (4月29日)



ふれあい親子県議会教室 (8月21日)

やけどの 県議会レポート

平成30年9月定例議会
予算委員会から抜粋(9月21日)

河北潟干拓地の酪農などについて

焼田 宏明 河北潟干拓地の酪農団地は大規模な経営が展開されている。県内の生乳生産量の5割を占める一大生産拠点であり、本県の酪農にとって極めて重要な役割を担っている。近年は飼料価格の高止まりや牛乳消費量の減少など、酪農家には厳しい状況が続いている。河北潟干拓地の酪農振興に対し、県はどのような支援を行っているのか。

◎農林水産部長 収益力向上に向け、自動給餌機など作業機械の導入による効率化を進めているほか、酪農経営の専門家の協力を得て飼養管理技術等の指導を行ってきた。今年度からは機械作業の共同化による牧草の効率的な生産や耕種農家による安価で高品質な飼料作物の供給にも取り組んでいる。また、河北潟ふれあいフェスタなど生産者と消費者の交流を促進するイベントを通じてPRに努めている。

焼田 宏明 河北潟干拓地では共同ふん尿処理施設「河北潟ゆき」が設置され、ふん尿の堆肥化と河北潟の水質保全を図っているが、設置から18年以上が経過し施設の一刻も早い改修が必要だ。補正予算に改修を支援する事業が計上されているが、施設の状況と改修の内容を聞く。

◎農林水産部長 河北潟ゆきは経年劣化が進行しており、ほぼ全ての汚水処理設備において更新が必要となっている。河北潟の水質や周辺環境への悪影響が懸念されることから、国や内灘町とともに施設の改修に対する支援を行う。改修の内容は腐食や劣化が見られるポンプや電気設備の更新などとなっている。

焼田 宏明 河北潟ゆきでは汚水処理経費がかさんでおり、経営の負担になっている。経営を健全化するためには汚水処理経費を削減することが重要な視点であると考え、改修に当たった県の考えを聞く。

◎農林水産部長 改修に際しては現行の処理能力を確保しつつ、汚水処理経費を削減して、施設の収支改善を図ることが重要である。工程全体を見直し、畜舎からふん尿を収集す



る際に分別することで処理量の縮減を図り、経費を削減した。汚水処理経費の削減、堆肥のさらなる販売促進など収支改善に向けた取り組みを後押ししていく。

焼田 宏明 河北潟干拓地の酪農経営を支える堆肥は河北潟干拓地地内の畑地などへ散布され、耕畜連携を図り、資源循環型農業を推進している。また、酪農家自ら生乳を使ってアイスクリームの製造と販売を手がけており、河北潟干拓地のにぎわい創出とブランド力の向上に貢献している。県都金沢に近い一大農産地としての河北潟干拓地農業を引き続き支援を願いたい。

生涯スポーツ振興、特にマラソンや 駅伝について

焼田 宏明 この秋から来春にかけては地域に根差した継走大会やマラソン大会などが数多く開催されている。10月28日には金沢マラソンと富山マラソンが開催され、同日の開催であるため、どちらか一方しか参加できず、残念がるマラソン愛好家が大勢いる。隣県同士の同日開催を避けるために協議を行ってきたのか。

◎県民文化スポーツ部長 金沢マラソンの開催日を固定化することにより他の行事やイベント等との重複を避けることができ、沿道の応援やボランティアの協力が得やすくなること、宿泊施設の確保が円滑になる等の理由から毎年10月最終日曜日を開催日とした。両大会とも募集定員を上回る応募が続いており金沢、富山がそれぞれ地域の特性を生かし、より魅力ある大会となると考えている。

焼田 宏明 富山マラソンには車椅子の部やジョギングの部など障害者や年少者が参加する部門が設定されているが、金沢マラソンでも障害者や年少者にも出場の機会がある部門を設けてはどうか。

◎県民文化スポーツ部長 金沢マラソンでは障害のある方には優先出場枠を設けており、今年度の大会では127名が

当該枠に応募されている。今後の車椅子部門の設置については、組織委員会で障害者団体等とも意見交換を行い、検討を重ねている。

焼田 宏明 昨年に施行された石川県スポーツ推進条例の趣旨であるスポーツを「する」、「みる」、「ささえる」の観点からも、マラソンや駅伝は地域に根差し一体になれる競技だ。中でも、毎年11月23日の勤労感謝の日で開催される河北潟一周駅伝競走は大正9年に開催されるようになり、回を重ねるにつれ参加チームも増え、昨年の97回大会では3部門36チーム、316名が参加。この歴史ある大会をどのように評価しているのか。

◎県民文化スポーツ部長 河北潟一周駅伝競走大会は、現在まで続く国内駅伝競走大会としては箱根駅伝と並び最古である伝統のある大会である。この駅伝競走大会は本県のスポーツ振興や地域の活性化につながっている。

焼田 宏明 大会関係者は何としても100回大会の開催と成功を目指し、伝統ある大会を盛り上げ、知名度アップと交流人口の拡大につなげようとしている。しかしスタッフ不足と資金不足が大きな壁となり、毎回開催するには大変苦労している。スタートからゴールまでのコースはもとより、各中継所では選手の安全に細心の注意を払ってきたため、今日まで無事故で大会を継続してこれた。河北潟一周駅伝競走のほか、金沢マラソンや駅伝など年間どれほどの警察官が交通整理などの任務に携わっているのか。

◎警察本部長 平成29年に県内において警察官が交通整理や応援の方々の事故防止の対策を行った大会は、駅伝が14回、マラソンが19回、その他トライアスロン等8回の計41回ある。街頭で活動した警察官の人数は、白バイによる先導や交通整理に682人、事故防止対策等に127人の延べ800人です。

焼田 宏明 2020年東京オリンピック・パラリンピックが開催される年の河北潟一周駅伝競走大会は100回目を迎える。100回大会を成功させるには、県の力強い後押しが必要だ。地域の活性化を図るためにも、県内外のアスリートに向け力強くアピールすることは、誘客効果や生涯スポーツの振興にもつながる。谷本知事の所見を聞く。

◎谷本正憲知事 河北潟の一周駅伝競走大会、97回にわたり連綿と開催されており、心から敬意を表したい。継続は力なりを実感せずにはおられない。私も第89回大会の開会式に出席し、選手を激励した。この先も伝統ある日本でも最古の駅伝競走大会を後世に引き継いでいくことが地元の責務であり、石川県のスポーツの振興、地域の活性化にも大きく貢献する大会としてしっかりアピールしたい。

消雪工事などについて

焼田 宏明 今年は北陸地方では大雪となり、消雪設備のある道路とない道路の違いが大きく現われた。県道高松津幡線のIR津幡駅前の一部において消雪工事が完了したものの、前後の区間では圧雪されたてこぼこ状態の区間が多く、早急に消雪設備を延長してほしいとの強い要望が上がっている。県道高松津幡線の今後の消雪工事計画について聞く。

◎土木部長 高松津幡線の消雪工事は、津幡町加賀爪から太田間の約2キロを整備する計画で平成27年度に事業着手し、まずは津幡駅前から太田までの約900メートルの整備を優先的に進めている。昨年度までに津幡駅前から太田側への約420メートルを完成させた。残る区間約480メートルの整備を進め、今年度は散水用の井戸の掘削工事を実施している。

焼田 宏明 大雪により北陸自動車道の金沢森本インターチェンジから小矢部インターチェンジの間で大渋滞を引き起こし、富山県境の北陸自動車道上下線が36時間20分にわたり通行止めとなった。全車両が国道8号線に降るされ、津幡バイパス舟橋ジャンクションから富山方面にかけては大渋滞した。問題解決のためには国道8号を一刻も早く4車線化にすべきだ。国は一般国道8号倶利伽羅トンネルの測量調査及び道路設計に既に着手しているが、2車線部分の4車線化整備を富山県とともに国に対して早急に強く要望すべきだ。



◎土木部長 倶利伽羅トンネルを含む県境部では、大雨の際に通行止めとなる事前通行規制区間となっており、広域的な幹線道路として十分な機能を備えていない。国では平成28年度より新たなトンネルの整備に着手し、今年度は引き続き調査設計を進めている。津幡北バイパスから富山県につながる区間は交通量が増加していることから、富山県との連携を密にし、倶利伽羅トンネルの早期工事着手と早期の4車線化について強く働きかけていく。